

2024年度 定時総会開催

2024年6月6日(木) 15:00～16:50 ホテルニューオータニ「鳳凰の間」

2024年度定時総会は、会場出席とリモート出席を合わせ、約400名の会員の皆様に出席いただきました。

下記事項について諮り、すべての議案が原案の通り可決されました。

決議事項

- | | |
|-------|------------------|
| 第1号議案 | 理事の選任について |
| 第2号議案 | 役員の改選について |
| 第3号議案 | 2023年度活動報告について |
| 第4号議案 | 2023年度収支決算について |
| 第5号議案 | 2024年度活動計画について |
| 第6号議案 | 2024年度収支予算について |
| 第9号議案 | 会員の異動及び役員の改選について |
- 第7号、第8号は、報告事項へ変更いたしました。

報告事項

- ・会費に関する規定の改定について
- ・事務局内組織編制について



【2024年度活動計画 要旨】

◆ 最重点課題：有事における国民的危機への対応

熊谷事務局長より

- 日本および他国の司令塔機能について調査・比較検証を進める。
- 国民保護の観点も含め、生団連が求める「あらゆる有事に対応する司令塔機能」の実現を目指し、提言を実施する。
- 新型インフルエンザ等対策政府行動計画の改正に対して、国民目線で評価する。

◆ 重点課題：国家財政の見える化委員会



▲キリンビール株式会社
堀口代表取締役社長

堀口座長より

- 林官房長官への提言実現をきっかけに、「3カ年複数年度予算制度」の導入と「独立財政機関」の設立の実現に向けて、広報活動等により話題化を図る。
- 「見える化」の更なる推進に向け、デジタル化や予算編成プロセス見直し等について調査を進める。
- 国民に対して勉強会などの意識喚起活動を行う。その一環で国民アンケートを実施し、定量的なデータとして蓄積していく。

◆ 重点課題：外国人の受入れに関する委員会



▲株式会社ニッスイ 浜田代表取締役社長
執行役員 最高経営責任者(CEO)

浜田座長より

- 教育は、各セクターの連携が上手くいっている地域や海外事例を調査した上で効果的な連携のあり方のモデルを検討し、提示していく。
- 就労は、2027年を目途に「育成就労制度」が施行されることに伴い、生団連として取り組むべき論点を再整理し、管轄省庁の実務担当レベルとの意見交換や提案を行う。
- 基本指針は、事務局より意向確認書の再案内や採択・賛同の進捗について確認を行う。採択・賛同数を増やすため、ぜひご理解・ご協力を賜りたい。

◆ 重点課題：エネルギー・原発問題委員会



村田座長より

- これまでのエネルギー政策の効果検証を行う。
- 2024年は「エネルギー基本計画」改定の年であるため、資源エネルギー庁HPに設けられた意見箱へ意見を投じた。今後、有識者との面談を通じて、国民関与の具体的手法の深掘をし、より具体性のある提言につなげる。
- 原発ファクト集の改定に固執することなく、国民の意識喚起に繋がる新しい企画を実行する。

▲株式会社高島屋 村田代表取締役社長

◆ 重点課題：新・災害対策委員会



熊谷事務局長より

- 外部の防災イベントへの出展を通じ、防災意識啓発など外部発信強化を実施していく。
- サプライチェーン全体での支援体制構築に向けて、昨年から引き続き、企業分科会を開催し、災害支援マニュアル策定に向けて議論を深める。
- 能登地震発生を受け、基金設立後初めて、基金からの支援金寄付を行ったが、持続性に課題が見えてきた。持続可能な基金運用に向けて、生団連防災月間を設けることで、有志の寄付月間として運用をしたい。

▲生団連 熊谷事務局長

◆ 重点課題：ジェンダー主流化委員会



塩澤座長より

- 先進国の中で最下位クラスであるジェンダー平等の実現に向け、ジェンダー視点主流化に取り組んでいく。
- 引き続き「企業内のジェンダー主流化」を推進する。それには経営層が関わらなければ進まない、という結論。
- 第二回企業分科会(全4回)を開催し、良い取り組みは水平展開、問題点は突破口を見つけ、企業取り組み課題と、社会課題それぞれについて方向性を見出したい。
- 秋の第一回委員会では、これまでの活動総括と、今後の活動のステップアップに向けた議論をしたい。

▲アサヒビール株式会社
塩澤取締役会長

◆ 研究課題

- プラスチック問題…………… ファクト収集を実施、外部団体との連携を強化し、課題解決に向けた取り組みを促す。
- 食料安全保障・食品ロス削減…地域生団連と連携し、具体的な調査、活動を行う。
- 気候変動…………… 気候変動に関するファクト収集を行い、研究・論点整理を行う。
- 人材・教育問題…………… 教育における課題へ取り巻く環境、歴史的背景・世界規格等について調査研究を行う。

◆ 地域生団連

- 埼玉生団連 柿沼会長より
食品ロスの問題について引き続き議論を重ね、現地視察会等を開催する予定。
- 大阪生団連 山口会長より
外国人・災害について引き続き議論を重ねる。
取り組むべき重点課題を調査、議論するとともに、各企業とも協議し、テーマを決めていきたい。
- 北海道生団連 渡辺会長より
食料安全保障、食品ロス削減について、夏ごろに分科会を開催する予定。



◀会場参加の会員様から
ご意見・ご質問をいただき、
大変活発な会となりました。

総会 記念講演

2024年6月6日(木) 17:00～17:45 ホテルニューオータニ東京「鳳凰の間」

記念講演 『テクノロジーで食・エンタメ・体験の力を最大化。世界を魅了する日本に。』



自由民主党 衆議院議員
小林 史明 様

1983年 4月8日生まれ

2007年

上智大学理工学部 卒業

株式会社NTTドコモ 入社

2012年

第46回衆議院選挙 初当選

2017年

総務大臣政務官 兼 内閣府大臣政務官

2019年

自由民主党 青年局長

2021年

デジタル副大臣 兼 内閣府副大臣

内閣府大臣補佐官

2023年

自由民主党 新しい資本主義実行本部事務局長

同党 競争政策調査会事務局長

同党 デジタル社会推進本部事務総長

同党 社会保障制度調査会・デジタル社会推進

本部 健康・医療情報システム推進合同

PT事務局長



【講演概要】

- 自由民主党 衆議院議員としてこれまで「テクノロジーの社会実装で、多様でフェアな社会を実現する」を政治信条に規制改革に注力してきた。現在は新しい資本主義実行本部で議論される経済構造改革、スタートアップ政策、社会保障制度改革を中心に、競争政策、党改革も推進している。
- 日本は「先進性」「文化的影響力」「平和」といった観点で世界から高く評価されている。日本の強みを循環させることが大事。訪日外国人が日本でやりたいことは「食・エンタメ・地域の体験」。
- 翻って現状日本は30年に及ぶ「デフレ経済」を脱却して、賃上げと投資がけん引する成長型経済への移行期。岸田政権の「新しい資本主義」は、賃金が継続的に上がる好循環の実現を目指すもの。人口減少と人手不足のなかでも企業が柔軟に収益性を高め、成長し続けられる環境が必要。
- 「アナログ規制」の見直しによるテクノロジーの導入など官民連携による賃上げ・成長投資で国内経済を好循環型に転換し、海外市場への付加価値の高いサービスを展開。その果実を国内へ循環させ、更なる成長と所得向上を実現する。
- 生団連は財政見える化を掲げているが、事業予算に個別番号を振り分けて管理する改革を進めている。国の決算は、次年度予算を立て終わったのちに集計されるため予算運営の効率化・検証ができていない。この改革により1か月単位での予算の使い方の見直しが可能になり、適切な予算配置が可能になる。

総会 記念パーティ

2024年6月6日(木) 18:00～19:30 ホテルニューオータニ東京「鶴の間」

記念パーティでは、国会議員・関係官庁の方々をはじめ、多くのご来賓のご臨席を賜り、温かいご祝辞も頂戴しました。総勢850名に上る方々のご参加により、大盛況のパーティとなりました。



小川会長挨拶 要旨

- 政治資金の問題でいろいろな議論がされ国民は心配しているが、議論が矮小化されている。公開条件だけでなく、志を持ってお金を使い、その使い方を分かりやすく国民に公開するべきだ。
- 全てお天道様は見ているという意識でお金の使い方を公明正大に国民に分かりやすく説明できるようにしてほしい。
- 政治にお金がかかるのは分かっている。それをきちんと説明した上で資金を募るべきだ。民主主義の基本的なシステムとして、主権者がお金を出し、政治活動を支え、その代わりにこの国を良くするためにしっかりと頑張って頂く、こういった構造を当たり前にするべきだ。

【来賓祝辞】



▲岸田 文雄 内閣総理大臣

岸田総理 祝辞概要

- 経済の成長と分配の好循環に向けた取り組みを続けた結果、日本の経済は5%超の賃上げ、100兆円超の設備投資の動き、株価など30年ぶりの明るい兆しが出てきた。
- 明るい兆しを定着できるか、日本経済は正念場を迎えている。幅広い分野での賃上げや若い子育て世代への支援の取り組みを通じて今の動きを盛り上げていく。
- その際に大切なのは、官民連携により生活者が豊かになりそれが企業成長につながるという好循環である。
- 生団連の皆様には、こういった経済の流れを実感頂き、明日は必ず今日よりも良くなる日本の実現のために協力頂きたい。



▲茂木 敏充
自由民主党幹事長



▲山口 那津男
公明党代表



▲泉 健太
立憲民主党代表



▲玉木 雄一郎
国民民主党代表



▲藤田 文武
日本維新の会幹事長



▲目見 英子
内閣府特命担当大臣

【乾杯】



◀(左より)

札幌消費者協会	渡辺 裕子 会長
堺市消費生活協議会	山口 典子 会長
東京都地域婦人団体連盟	山下 陽枝 副会長
消費者市民社会をつくる会	阿南 久 代表理事
埼玉県地域婦人会連合会	柿沼 トミ子 会長